

「生きる喜びが実感できる人づくり」 を目指して

地域の
特色ある
活動

愛媛県松山市教育委員会

1 はじめに

松山市教育委員会では、本市の教育施策を総合的かつ体系的にまとめ、今後目指すべき教育行政の目標や基本方針等を示した「第4次まつやま教育プラン21」（2019年度～2023年度）に基づき各施策を推進しています。

本市の教育行政の目標として「生きる喜びが実感できる人づくり」を掲げており、これは、市民一人ひとりが郷土松山を誇りに思い、自らの居場所と夢を持って生きる喜びを実感し、健康で主体的に学習しながら心豊かに生活していくことを願って定めたものです。

教育行政の目標に向け、様々な取組を行っていますが、今回は特色あるものとして次の2事業について紹介します。

2 特色ある事業

(1) 子どもから広がるいじめ^{ゼロ}ミーティング

平成18年度から毎年、松山市の小中学校の代表が一堂に会し、児童生徒がいじめに対する認識を深め、主体的にいじめをなくそうとする態度を養うことを目的として開催しています。

第1回のミーティングでは、子供たち自身がいじめの解決に向けて真剣に話し合うとともに、合言葉「さかせよう 笑顔の花 つみとろう いじめの芽」を採択しました。会議後、この合言葉を印刷したクリアファイルを全児童生徒に配布するとともに、市役所庁舎に懸垂幕、及び全小中学校に横断幕を掲げ、子供たちの思いを広く市民に伝えました。平成25年度からの4年間は「いじめ対策CM」



の募集を行い、ミーティング時に最優秀校の紹介・視聴を行いました。平成29年度



には、子供たちの発案により毎月10日を「まつやま・いじめ0の日」に設定し、翌年度には、この「いじめ0の日」の取組を代表校が発表しました。さらに、令和元年度に児童生徒の投票をベースに、教育委員会で審議して決定した「まつやま・いじめ0の日」のイメージキャラクター『いじめなーしー』の着ぐるみを製作して、各校で活用してもらえるようにしました。

その他にも様々なテーマでいじめをなくすための話し合いを行い、「インターネットを介したいじめやネットトラブルを防ぐための行動宣言」や「いじめ0メッセージ」等が採択されました。

このミーティングには、PTAの代表や参加校の教員等も参加しており、将来を担う松山の子供たちが、様々な人と触れ合い、思いや考えを伝え合う中で、自他のよさや多様性に気付き、互いを尊重し合う心を培い、豊かな人間性や社会性を身に付けています。

いじめは、どの子供にもどの学校にも起こ



りうるものであり、深刻な人権問題であることを認識し、すべての子供が心豊かに生まれ、夢を持って成長できるように、学校や家庭、地域が連携して、いじめの問題を克服していくことが大切です。今後も、かけがえない命を守るために、松山の子供たちから絶対に犠牲者を出さないよう、大人も子供も一緒になって、子供たちの輝く笑顔を咲かせるために、「子どもから広がるいじめ0ミーティング」による取組を一層推進していきます。

(2) ふるさとへの愛着と誇りを育む教育

「ふるさと松山学」の推進

本市では、松山ゆかりの先人の生き方や歴史文化を学び、子供たちに郷土への愛着や誇り、将来への志を育むことをねらいとした「ふるさと松山学」を推進しています。

この「ふるさと松山学」は、平成21年度、松山市の教職員施策提案から生まれました。「『松山ってすごい』と思える教材や、地域に生きた人々から学べる教材を作り、ふるさと松山のよさを伝えたい」という思いからスタートし、教職員や教育関係者が力を合わせ、「手作り」の教材を完成させました。

ふるさと松山学教材は、大きく分けて3つあります。

1つ目は、「のぼさんと学ぶ俳句と言葉」(子規と俳句に関する教材)全3巻で、小学校1年生、4年生、中学校1年生に個人配付しており、俳句作りの授業等で活用しています。



2つ目は、「語り継ぎたい ふるさと松山 百話」(先人伝全7冊)です。松山にゆかりのある先人の逸話と、松山に伝わる心温まる史話をまとめたものです。小中学校には、児童生徒数に応じて約40セット程度図書館に配付しており、朝読書、社会科や総合的な学習の時間等で活用しています。



3つ目は、「春や昔～正岡子規のふるさとシンフォニー～」です。「この街で」の作詞・作曲者、新井満さんが子規の俳句にメロディをつけ、子規の人生とともに松山の風景を表

現した楽曲です。平成26年にできて以来、特に小学校では市内連合音楽会での合唱や今月の歌、全校集会などで活用されています。



平成30年10月には、先ほど紹介した先人伝7冊の内容を1冊にまとめて紹介するとともに、家庭で保護者と一緒に楽しく学べるように「広がれ!ふるさと松山の心」を発行しました。この本は、小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒に配付しています。また、学校教育の枠を超え、市民や地域の方々、全国の人たちにも先人の生き方、松山のよさや魅力を広く知ってもらいたいという思いから一般販売も行っています。



また、愛媛CATVと協力して、毎月1人の先人を紹介する番組も作成し、YouTubeにアップしています。松山市のホームページから誰でも視聴することができるようにしており、親子など世代を超えて、ふるさとのよさを知り、ふるさとを学ぶ活動を家庭や地域社会にも広げています。

3 おわりに

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け長期の臨時休業を余儀なくされたほか、「GIGAスクール構想」の前倒しが打ち出されるなど、今後ますます教育を取り巻く環境は急速に変化していくことが予想されます。

こうした時代の要請にも即応しながら、今回紹介したような本市の特色ある取組を発展、継承していくことで、一人ひとりが郷土松山を誇りに思い、自らの居場所と夢を持って生きる喜びが実感できる人づくりに全力を尽くしていきたいと考えています。

教育長

藤田 仁

